

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 18 日現在

機関番号：20102

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008 ～ 2011

課題番号：20520233

研究課題名（和文）ヴィクトリア朝後期の女性運動と文学の共鳴

研究課題名（英文）The Rhetoric of Body Politics: Popular and Radical Imagination in Late Victorian Feminism and Literature

研究代表者 市川 千恵子（ICHIKAWA CHIEKO）

釧路公立大学・経済学部・准教授

研究者番号：10372822

研究成果の概要（和文）：本研究課題は、ヴィクトリア朝後期の女性著述家による「抗議と抵抗の文学」としての散文をジャンル横断的に解明し、女性の政治的想像力によるネットワーク形成の様相を検証することを目指した。ジョゼフィン・バトラーの性病予防法撤廃運動と執筆活動は、女性に自らの身体への意識を高め、さらに女性医師のパイオニア、エリザベス・ブラックウェルの著作における近代医学による女性身体への暴力と搾取に対する抗議は、女性が性について語る契機をもたらし、世紀末の〈新しい女〉の誕生へと連動する。セアラ・グランドの文学作品に刻まれた性のダブル・スタンダードへの抵抗と、医師、医療による女性の心身の虐待への抗議には、バトラーとブラックウェルらの声の継承を確認することができた。また、医師で著述家のマーガレット・トッドとアラベラ・ケニーリーの小説において、女性医師には同性の身体守護者としての使命が付与され、同時にそのことが物語の展開上でも重要な役割を果たすことが明らかになった。国際学会において、2008年にバトラーについて、2010年、2011年にはトッドとケニーリーに関する研究発表を行った。また、バトラーに関する論文はラウドレッジ社の学際的女性史雑誌に掲載予定となり、国外へも研究成果を積極的に発信することができた。

研究成果の概要（英文）：In this research project, I sought the configuration of the female political network in nineteenth-century gender politics, focusing on the political writings of Josephine Butler, medical women's involvement in Butler's campaign to repeal the Contagious Diseases Acts, and the representation of doctors in popular fiction such as New Woman novels. Butler's writing displays female rage as a primary source of creative power as well as the motivation behind the campaign, and implies her aspiration to subvert the patriarchal authority over women's bodies. In fact, pioneering medical women responded to Butler's crusade in many ways. Especially, Elizabeth Blackwell's writings made a significant contribution to the radical shift in raising the powerful voice of women to justify the importance of physical-self-determination for women, as Sarah Grand's novels offer insights about sexual double-standard and body politics by representing mental and physical abuse of women in modern medicine. More interestingly, some of medical women also wrote literary works in which they articulate the significance of new roles for women in both private and public domains at the fin de siècle. I presented papers on medical women in International conferences in 2010 and 2011, and my article on Butler will be published in an interdisciplinary academic journal on women's history (Routledge).

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	800,000	240,000	1,040,000
2009年度	900,000	270,000	1,170,000
2010年度	800,000	240,000	1,040,000
2011年度	900,000	270,000	1,170,000
計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：英米・英語圏文学

キーワード：女性運動、散文、性道徳規範、女性医師、ヴィクトリア朝後期

1. 研究開始当初の背景

ヴィクトリア朝のセクシュアリティ研究と世紀末の〈新しい女〉研究は、近年成熟化しつつある。しかし、性の二重規範に取り組んだジョゼフィン・バトラーの活動とその著作が、いかに 19 世紀英国社会に衝撃を与えたのか、さらに女性の身体の特権家として女性医師がどのように女性の欲望を定義したのか、具体的な女性運動と著作を検証する必要性が生じた。

2. 研究の目的

ヴィクトリア朝後期における女性の社会的活動と散文から、「家庭の天使」像の修正の様相と、女性領域の拡大をめぐるジェンダー・ポリティクスの葛藤を検証し、時代の女性表象の変容を社会運動と文学から探り、両者の相関関係を探ることが本研究の目的である。

3. 研究の方法

文学作品と政治的文書の個別テキストの読みと分析を進め、女性の政治活動、執筆活動、ネットワーク形成の様相、出版事情他の項目ごとに調査を行った。基本的にはリプリント版を使用した。国内で入手できない資料に関しては、年に 1, 2 度渡英し、British Library、Wellcome Library、Women's Library にて文献調査と収集を行い、

Salvation Army のアーカイブでもバトラーの書簡並びに救済女性の書簡と自伝原稿を調査した。また、The National Library of Scotland においても、マーガレット・トッドの書簡からブラックウッズ社との関係を調査することができた。また、研究の過程において得られた結果は、所属する国内外の学会において積極的に研究発表を行った。

4. 研究成果

本研究課題において得られた成果は以下の通りである。

(1) ジョゼフィン・バトラーによる英国内の性病予防法撤廃運動をめぐる講演原稿、パンフレット、伝記、書簡など調査した結果、旺盛な執筆活動の原動力が怒りであり、その著作には女性の身体を支配する家父長的権威を転覆する野心が読み取れた。この意味において、バトラーは 19 世紀女性の著述に新たなスタイルを切り拓いたと言える。

(2) 女性医師のパイオニア世代のなかで特に執筆活動を積極的に展開したブラックウェルは、女性の身体を管理する法と医学界のミソジニーの非道性を訴えた。また、彼女が複数の著作において当時の女性の性的欲望をめぐる神話を否定したことは、女性が性について語る契機をもたらし、世紀末の〈新しい女〉の誕生へと連動していることが明らかに

なった。

(3) 作家活動を展開した女性医師マーガレット・トッドとアラベラ・ケニーリーの小説において、それぞれのフェミニズムに対するスタンスは異なるが、両者の女性医師の表象には同性の身体守護者としての使命が見出され、同時にそのことが物語の展開上でも重要な役割を果たしていることが確認できた。

(4) セアラ・グランドの長編、中編、短編のいずれにおいても、性のダブル・スタンダードへの抵抗と、女性の身体への暴力と搾取に対する抗議としての政治的主張が強調されており、バトラーの性道徳批判を受け継ぐテキストであることを確認した。さらに、グランドの小説における医師、医療行為、動物生体解剖実験の表象は、女性の心身の虐待の暗喩であると同時に、ブラックウェルが著作活動において問いつけた近代医学による女性身体への暴力と搾取を可視化させる。性道徳批判、性の浄化運動支持という視座から書かれたグランドとケニーリーの作品に共通するのは、女性の欲望の肯定が示唆されていることだが、一方で両作家には女性のセクシュアリティを「母性」に完全に吸収させてしまう傾向もあり、女性表象の揺れ動き、ジェンダーの矛盾はさらなる分析と考察が必要である。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計4件)

1. Chieko Ichikawa, 'Jane Eyre's Daughters: The Feminist Missions of Mary Carpenter and Josephine Butler in India', *Women's History Review* (Routledge, forthcoming)(査読有).

2. 市川千恵子, 「厄介なる遺産—『ハード・

タイムズ』と『北と南』から『素敵な仕事』へ」、日本ヴィクトリア朝文化研究学会『ヴィクトリア朝文化研究』9 (2011): 58-72 (査読有).

3. 市川千恵子, 「〈癒し〉の表象とジェンダー・ロール—エリザベス・ギヤスケルの『ルース』から〈新しい女〉小説へ—」、日本ギヤスケル協会『ギヤスケル論集』21 (2011): 17-29 (査読有).

4. Chieko Ichikawa, 'Writing as Female National and Imperial Responsibility: Florence Nightingale's Scheme for Social and Cultural Reforms in England and India', *Victorian Literature and Culture* 39.1 (2011): 87-105 (査読有).

(<http://dx.doi.org/10.1017/S1060150310000288>)

[学会発表] (計8件)

1. 市川千恵子, 「Arabella Kenealy の *Dr Janet of Harley Street*」における女性の進化と退化」第3回お茶の水女子大学英文学会大会、2011年11月5日、お茶の水女子大学.

2. Chieko Ichikawa, 'Eugenic Marriage' in Arabella Kenealy's *Dr Janet of Harley Street*', the 3rd Annual Conference of the Victorian Popular Fiction Association (Sex, Courtship and Marriage in Victorian Popular Culture), 2011年7月18日、英国ロンドン大学.

3. 市川千恵子, 「〈癒し〉の表象とジェンダー・ロールの変遷—エリザベス・ギヤスケルの『ルース』から〈新しい女〉小説へ—」、第22回日本ギヤスケル協会全国大会、2010年10月3日、実践女子大学.

4. Chieko Ichikawa, “The Portrait of a Medical Student as a Young Woman: Margaret Todd’s *Mona Maclean*”, Women Writers in Fin de Siècle International Conference, 2010年6月28日, 英国 ロンドン大学.

5. 市川千恵子、「厄介なる遺産—『ハード・タイムズ』と『北と南』から『素敵な仕事』へ」、ディケンズ・フェロウシップ日本支部 春季大会、2009年6月20日、中京大学.

6. 市川千恵子、「ジェイン・エアの『娘たち』—メアリ・カーペンターとジョゼフィン・バトラー」、第8回日本ヴィクトリア朝文化研究学会全国大会、2008年11月15日、関西大学.

7. 市川千恵子、「『書く女』の政治的表象」(シンポジウム「ギャスケルと伝記文学」)、第20回日本ギャスケル協会全国大会、2008年9月28日、神戸大学.

8. Chieko Ichikawa, ‘Body Politics of Their Own: The Crusade of Josephine Butler’, the 9th Annual Conference of the British Association of Victorian Studies (Victorian Feeling: Touch, Bodies, Emotions), 2008年9月3日、英国 レスター大学.

[図書] (計2件)

1. 松岡光治編『ギャスケルで読むヴィクトリア朝前半の社会と文化』(市川千恵子、第18章「売春—混迷のボディ・ポリティクス」執筆担当)、溪水社、2010年、347-364.

2. 日本ギャスケル協会編『エリザベス・ギャスケルとイギリス文学の伝統』(市川千恵子、第25章「女のペンのポリティクス—『シャ

ーロット・ブロンテの生涯』執筆担当)、大阪教育図書、2010年、289-299.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

市川 千恵子 (ICHIKAWA CHIEKO)

釧路公立大学経済学部・准教授

研究者番号：10372822